

日本貝類学会平成 25 年度大会 プログラム

会期：平成 25 年 4 月 20 日（土）～ 21 日（日）

会場：豊橋市自然史博物館

大会 1 日目 4 月 20 日（土）

9:30 ～ 受付開始

【口頭発表】

- 10:00 ～ 10:15 O-01 幼貝期から追跡したウミニナとホソウミニナ混生域の個体群動態
今井達郎（三重大院・生物資源）・金谷 弦（国立環境研）・木村妙子[○]（三重大院・生物資源）
- 10:15 ～ 10:30 O-02 生浦湾における貝類群集と底質環境の季節変動
秀島佑典[○]・木村妙子・木村昭一（三重大院・生物資源）・佐藤達也（Zakko Club）
- 10:30 ～ 10:45 O-03 シレナシジミ *Geloina coaxans* (Gmelin, 1791) の生息状況
鈴木興道（淡水魚類研究会）
- 10:45 ～ 11:00 O-04 製鋼スラグと浚渫土の混合土壌を敷いたメソコスムに現れた貝類
秋山吉寛[○]（広大・環境安全センター）、矢野ひとみ・片山貴博（広大院・工）・奥田哲士（広大・環境安全センター）・中井智司（広大・工）・西嶋 渉（広大・環境安全センター）
- 11:00 ～ 11:15 O-05 大地震・津波を乗り越えた貝類とその後
篠原 航[○]・大越健嗣（東邦大院・理）
- 11:15 ～ 11:30 O-06 薄く・軽くなる深海性イガイ科二枚貝の貝殻－海洋酸性化の貝類への影響
市村昌大・大越健嗣[○]（東邦大院・理）
- 11:30 ～ 11:45 O-07 深海化学合成生態系のエラウロコムシ類（多毛類）はシンカイヒバリガイ類を食べるか？
高橋幸愛・朝日田卓（北里大学大学院、海洋研究開発機構）・力石嘉人・土屋正史・佐々木瑤子・渡部裕美・丸山 正・藤倉克則[○]（海洋研究開発機構）
- 11:45 ～ 12:00 O-08 八代海南部出水西北西沖水深 30m の海底マウンド群に発達するカキツバタ (*Hyotissa imbricata*) 礁
安藤寿男[○]（茨城大・理）・大越健嗣（東邦大・理）・秋元和實（熊大・沿岸域センター）・七山 太（産総研）・坂本 泉・滝野義幸（東海大・海洋）・根本安加里（茨城大・理）
- 12:00 ～ 13:00 昼休み
- ## 【口頭発表】
- 13:00 ～ 13:15 O-09 東アジアに分布するマイマイ上科貝類の系統地理
亀田勇一[○]・森井悠太・平野尚浩（東北大・院・生命科学）
- 13:15 ～ 13:30 O-10 Molecular phylogeny and its taxonomic and evolutionary implications in the land pulmonate genus *Schileykula*
Barna Páll-Gergely^{○1}, Josef Harl² and Takahiro Asami¹ (¹Department of Biology, Shinshu University, ²Central Research Laboratories, Museum of Natural History, Vienna)
- 13:30 ～ 13:45 O-11 陸貝の近縁種間における形態の多様性
平野尚浩[○]・亀田勇一・木村一貴・千葉 聡（東北大・院生命科学）
- 13:45 ～ 14:00 O-12 パラオ諸島産ゴマガイ類における種多様性のパターン
上島 励[○]・山崎 碧・山崎一憲（東京大学理学系研究科）

- 14:00 ~ 14:15 O-13 ウミウシの陸上進出
 狩野泰則^{○1}・Timea P. Neusser²・福森啓晶¹・Katharina M. Jörger²・Michael Schrödl²
 (¹東京大・大気海洋研, ²Zoologische Staatssammlung München)
- 14:15 ~ 14:30 O-14 クサイロカノコ属腹足類の分子系統解析
 福森啓晶[○]・狩野泰則 (東京大・大気海洋研究所)
- 14:30 ~ 14:45 休憩
- 【口頭発表】**
- 14:45 ~ 15:00 O-15 *Habevolutopsius* 属のタイプ種の選定と現生種の再検討 (腹足綱: エゾバイ科)
 長谷川和範 (国立科学博物館・動物研究部)
- 15:00 ~ 15:15 O-16 ウロコガイ上科二枚貝類における共生様式の進化と寄主転換による多様化
 後藤龍太郎[○] (東京大・大気海洋研、学振 PD)・川北 篤 (京都大・生態研)・石川 裕 (愛媛県)・濱村陽一 (広島県)・佐藤慎一 (東北大・博物館)・加藤 真 (京都大・人間・環境学)
- 15:15 ~ 15:30 O-17 日本産アオガイ類の比較系統地理
 照屋清之介[○] (東大・理・地球惑星科学)・中野智之 (京大・瀬戸臨海実験所)・佐々木猛智 (東大・総合研究博物館)
- 15:30 ~ 15:45 O-18 カサガイ類の系統分類の現状と課題: 特に分子系統、タイプ標本、貝殻微細構造について
 佐々木猛智[○] (東大・総合研究博物館)・酒井理恵 (東大・理・地球惑星科学)・照屋清之介 (東大・理・地球惑星科学)・中野智之 (京大・瀬戸臨海実験所)
- 15:45 ~ 16:00 O-19 ミトコンドリア DNA によるクロスジムシロ種群の予察的系統解析
 花木勇太[○]・香取祥人・林 誠司 (名古屋大学)・木村昭一 (三重大学)
- 16:00 ~ 16:15 O-20 局所スケールにおけるクロタマキビの繁殖のタイミングと形態・遺伝的差異
 山崎友資[○] (蘭越町貝の館)・東 典子 (北海道大学)・千葉 晋 (東京農業大学)
- 16:15 ~ 16:30 O-21 ウミニナ・リュウキュウウミニナ間における生殖隔離の検証
 廣瀬公子[○]・伊藤 萌 (東京大学大学院・新領域)・山本智子 (鹿児島大・水産)・上村了美 (国土技術政策総合研究所)・小島茂明 (東京大学大学院・新領域)
- 16:30 ~ 17:45 ポスターセッション (偶数番号)
- 18:45 ~ 懇親会

大会2日目 4月21日(日)
 9:00 ~ 受付開始

- 【口頭発表】**
- 9:15 ~ 9:30 O-22 滋賀県指定外来種コモチカワツボの県内における分布状況
 中井克樹[○] (滋賀県立琵琶湖博物館)・林 和典 ((株)パスコ)・滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課
- 9:30 ~ 9:45 O-23 日本産サキグロタマツメタの記録 - 有明海・瀬戸内海に在来個体群は存在したか? -
 山下博由[○] (貝類多様性研究所)・黒住耐二 (千葉県立中央博物館)・岡本正豊 (千葉県)・佐藤慎一 (東北大学)

- 9:45 ~ 10:00 O-24 山口県の日本海沿岸における熱帯性貝類の出現状況—2013年時点の知見
堀 成夫 (萩博物館)
- 10:00 ~ 10:15 O-25 沖縄島干潟貝類の“最後の最後の砦” 名護市
久保弘文 (沖縄県水産海洋研究センター)
- 10:15 ~ 10:30 O-26 単板綱セイスイガイの2個体目は採集されたのか
木村昭一[○]*・木村妙子*・狩野泰則 (東大海洋研)・内田 誠* (*三重大院・生物資源)・北村淳一 (三重県立博物館)
- 10:30 ~ 10:45 O-27 ホウオウガイとカイメンにおける水流を介した相利共生関係
椿 玲未[○]・加藤 真 (京大・人環)
- 10:45 ~ 11:00 O-28 キクイガイ科二枚貝類はどのようにして木を分解しているのか？
芳賀拓真[○]・西 真郎・秦田勇二・大田ゆかり (海洋研究開発機構)・植松勝之・多米晃裕 ((株) マリン・ワーク・ジャパン)・西本篤史 (京大・瀬戸臨海)・藤原義弘 (海洋研究開発機構)
- 11:00 ~ 12:00 総会
- 12:00 ~ 13:00 昼休み
- 13:00 ~ 14:00 普及講演会「オウムガイ・アンモナイトの殻が作る姿勢—アンモナイトはなぜ絶滅したか」
講師：松隈明彦 (日本貝類学会副会長)

【口頭発表】

- 14:00 ~ 14:15 O-29 ナスカの地上絵周辺で確認された海産貝類
黒住耐二[○] (千葉県立中央博物館)・坂井正人 (山形大学人文学部)・オラーノ, ホルヘ (山形大学人文学部)・瀧上 舞 (山形大学人文学部)
- 14:15 ~ 14:30 O-30 海産有肺類イソアワモチに見られる直接発生および継代飼育 (完全養殖) への応用
尾城 隆[○] (東京海洋大)・川端美千代・幸塚久典・関藤 守 (東大三崎臨海)
- 14:30 ~ 16:00 ポスターセッション (奇数番号)

【ポスターセッション】

- P-01 ドブガイ類の質から評価したカイダニの宿主依存性
秋山吉寛[○] (広大・環境安全センター), 木塚俊和, 高村典子 (国立環境研究所)
- P-02 左右二型を維持するマレイマイマイの巧みな異旋・対面交尾
石崎悠人^{○1}・Chirasak Sutcharit²・Somsak Panha²・浅見崇比呂¹ (¹信州大・理・生物, ²Dept. of Biology, Fac. of Sci., Chulalongkorn Univ.)
- P-03 千葉県の更新統産 *Haliotis discus koyamai* Makiyama, 1927 の化石
富田 進[○] (岐阜)・井上恵介 (名古屋大学)・左向幸雄 (和歌山)・吉田浩一 (東京)
- P-04 向上高校生物部 10年間の歩み—日本貝類学会への感謝をこめて—
園原哲司[○]・簗島智代・星加泰宏・宮澤まどか・酒井勇氣・高橋 瞬・平石恵一・振原悠人・若井 仁・小菅桃子・佐藤祐香・服部新太郎・井出佳宏・神田 旭・伊東桂一 (向上高等学校生物部)
- P-05 香川県沿岸における海産貝類相について—希少貝類を中心に—
瀬尾友樹 (近畿大学・農学部)
- P-06 Hypsogastropoda の分子系統解析およびハナゴウナ科姉妹群の探索
高野剛史[○]・狩野泰則 (東京大・大気海洋研究所)
- P-07 野外ケージを用いたカタツムリ実験集団の創設
入村信博[○] (千葉県立千葉北高校)・浅見崇比呂 (信州大・理・生物)

- P-08 フネドブガイの宿主魚種
近藤美麻[○] (岐阜大学連合農学研究所)・伊藤健吾 (岐阜大学応用生物科学部)・千家正照 (岐阜大学応用生物科学部)
- P-09 山陰沖日本海の頭足類相
和田年史[○] (鳥取県立博物館付属山陰海岸学習館)・増田 修 (姫路市立水族館)
- P-10 ハナヒラガイとソバノミガイのホスト
石川 裕 (愛媛県)・山下博由[○] (貝類多様性研究所)・後藤龍太郎 (東京大学)・池辺進一 (和歌山県)・吉田 誠 (和歌山県立自然博物館)・高重 博 (東京都)
- P-11 クロアワビとアコヤガイにおけるグリシンリッチタンパク質の解析
宮本裕史 (近畿大・生物理工)
- P-12 タケノコカワニナとムチカワニナは同種か
日高裕華[○]・狩野泰則 (東京大・大気海洋研究所)
- P-13 沖縄舟状海盆及び相模灘の漸深海帯から得られたヤスリヒザラガイ属の多板類
齋藤 寛[○] (国立科学博物館)・藤倉克則 (海洋研究開発機構)
- P-14 ペニスが長いことのメリット：精包の消化への影響
木村一貴 (東北大学・生命)
- P-15 石垣島に生息するドブガイモドキの幼生の寄生生態
伊藤寿茂[○] (新江ノ島水族館)・北野 忠 (東海大・教養)・唐真盛人 (石垣市)・藤本治彦 (八重山商工高)・崎原 健・河野裕美 (東海大・沖セ)
- P-16 Reproductive Seasonality of *Cypraea annulus* (Mollusca: Gastropoda) in Temperate Area
Shiela Villamor[○] and Tomoko Yamamoto (The United Graduate School of Agricultural Sciences, Kagoshima University)
- P-17 エゾバイ科モスソガイ属の分類
山崎友資[○] (蘭越町貝の館)・園田 武 (東京農業大学)・野別貴博 (知床財団)・五嶋聖治 (北海道大学)
- P-18 海洋酸性化がクサイロアオガイ原殻に与える影響について
諏訪僚太[○]・中野智之 (京都大学・瀬戸臨海実験所)
- P-19 市民参加型調査による日本の海産貝類の現況
自然しらべ 2012 貝殻さがし！調査グループ (黒住耐二[○] [千葉県立中央博物館]・萩原正朗 [日本自然保護協会]・大野正人 [日本自然保護協会]・他参加者)
- P-20 形態と系統の著しい不一致：北海道に産するエゾマイマイ群の例
森井悠太[○] (東北大学・院生命科学)・横山 潤 (山形大学・理)・河田雅圭 (東北大学・院生命科学)・千葉 聡 (東北大学・院生命科学)
- P-21 フジタウミウシ科の発光後鰓類 2 種の食性と摂食行動についての比較研究
中野理枝[○] (琉球大学大学院理工学研究科)・幸塚久典 (東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所)・末吉摩耶子 (長崎ペンギン水族館)・藤田敏彦 (国立科学博物館動物研究部)・広瀬裕一 (琉球大学理学部海洋自然科学科)
- P-22 貝殻から見た 3.11 大地震ーサキグロタマツメタの貝殻微細構造の変化
鈴木聖宏[○]・大越健嗣 (東邦大院・理)
- P-23 外来性陸貝オオクビキレガイの原産地国の推定、生殖戦略と生態系への影響
佐野彰一・武田悟史・松隈明彦[○]・三島美佐子 (九州大学総合研究博物館)
- P-24 砂噛みホタテガイは採泥器：ホタテガイ漁場の軟体動物相
栗原康裕[○] (北海道立総合研究機構網走水産試験場)・片倉靖次 (紋別市観光交流推進室)
- P-25 希少陸産貝類クチキレムシオイガイの生態と生息環境
松田春菜 (徳島県立佐那河内いきものふれあいの里ネイチャーセンター)
- P-26 囊舌目ウミウシ、チドリミドリガイは野外で藻類から葉緑体を補充し続けている
前田太郎^{○1}・広瀬裕一²・力石嘉人³・河戸 勝³・瀧下清貴³・吉田尊雄³・Heroen Verbruggen⁴・田中次郎⁵・島村 繁³・高木善弘³・土屋正史³・岩井憲司⁶・重信秀治¹・丸山 正³ (¹基礎生物学研究所, ²琉球大学, ³海洋研究開発機構, ⁴The University of Merlbourne, ⁵東京海洋大学, ⁶沖縄県水産海洋研究センター)

連絡事項

【ご来場】会場の豊橋市自然史博物館は、有料公園の豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）の中にあります。参加申込みをされた方には「入園許可証」を同封していますので、公園へのご入園（再入園）の際は、公園入口（東門・中央門・西門）に「入園許可証」をご提示の上、お入りください。「入園許可証」のない方は入場が有料になりますので、まだお申し込みいただいていない方で大会に参加される方は大会実行委員会（豊橋市自然史博物館 電話 0532-41-4747）までご連絡ください。

開園、開館時間は 9:00 です。

【受付】 4月20日（土）9:30 から自然史博物館入口付近で行います。

【口頭発表】

- 1 講演あたりの発表時間は、質疑を含め 15 分（1 鈴 10 分、2 鈴 12 分、3 鈴 15 分終了）とします。時間厳守をお願いします。
- 機器に接続するパソコンは実行委員会で用意します（Windows 7, PowerPoint 2007）。フォントはなるべく一般的なフォントを使用し、可能であればフォントの埋め込みをお願いします。
- 発表データを CD-R または USB フラッシュメモリに入れてご持参ください。ファイル名は「O-01_Suzuki.pptx」のように、「講演番号、アンダーバー、講演者名（. 拡張子）」（すべて半角）としてください。事前に必ずウイルスチェックを行ったものをご持参ください。
- 発表データは、受付時に係にお渡しください。読み込みエラーなどの事故を防ぐため、受付にてお預かりし、実行委員会で用意したパソコンのハードディスクにデータをコピーさせていただきます（発表終了後、データは消去します）。

【ポスター発表】

- ポスター発表用スペース：縦 2,300mm、横 900mm。パネルへの取り付けは専用のマジックテープ止めになります（マジックテープはこちらで用意します）。
- 発表用のポスターは、発表当日の 12 時までにはポスター会場（イントロホール）に展示してください。ポスターの展示位置は会場に表示します。

【休憩室】博物館内の講堂に休憩室を設け、コーヒー・お茶等をご用意しています。講演会場（特別企画展示室）内では飲食ができませんのでご注意ください。また、館内は全館禁煙、公園内も喫煙できる場所が限られていますのでご協力ください。

【昼食】弁当を予約された方には、受付時に昼食引換券をお渡しいたしますので、12:00～12:30 の間に休憩室（講堂）で弁当と引き換えてください。弁当は休憩室にてお召し上がりください。公園内にはレストラン、軽食等の売店があります。レストランは休日のため混雑が予想されますのでご注意ください。

【呼び出し】会場内での電話等の取り次ぎは致しかねますのでご了承ください。

【名札】受付で名札をお受け取りいただき、講演会場、休憩室および懇親会場では必ず名札をおつけください。なお、お帰りの際には名札ケースを受付にお返しください。

【盗難対策】最近、本学会を含め、学会開催中の盗難が報告されています。貴重品は各自の責任で管理をお願いいたします。

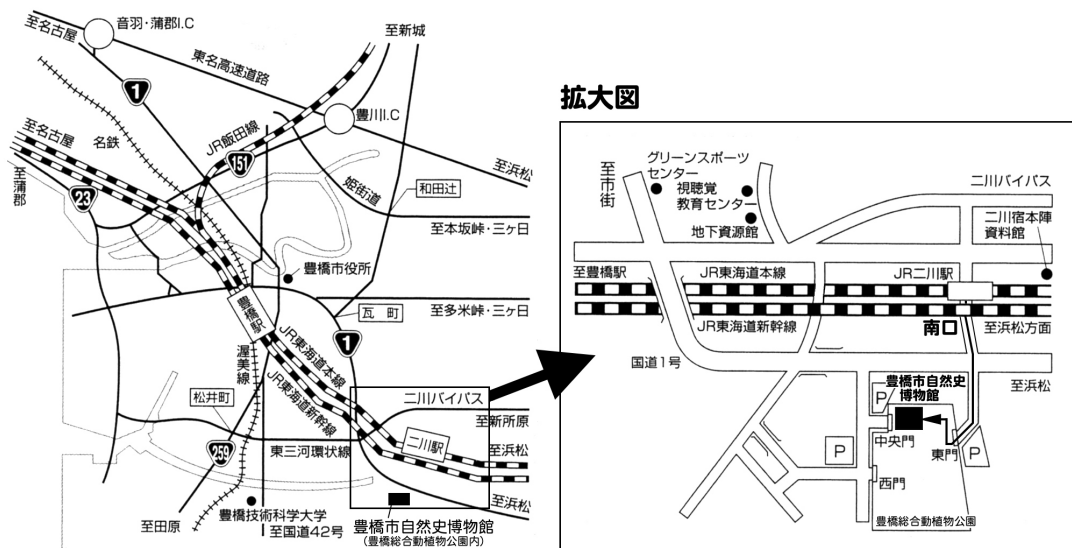
【懇親会】

- ・ ロワジュールホテル豊橋 2階「桜の間」(豊橋市藤沢町141 TEL 0532-48-3131)
- ・ 20日(土) 18:45～
- ・ 参加される方は、18:00発のシャトルバスに乗り遅れないようご注意ください。
- ・ 直接会場へ行かれる方は、JR豊橋駅西口から無料シャトルバスもあります(1時間1～2便、所要時間 約10分)。

交通案内

【大会会場】豊橋市自然史博物館 (〒441-3147 豊橋市大岩町字大穴1-238 豊橋総合動植物公園内)
電話 0532-41-4747 FAX 0532-41-8020

【公共交通機関】JR東海道本線 二川駅南口より徒歩約6分、豊橋総合動植物公園東門より入園し約5分。



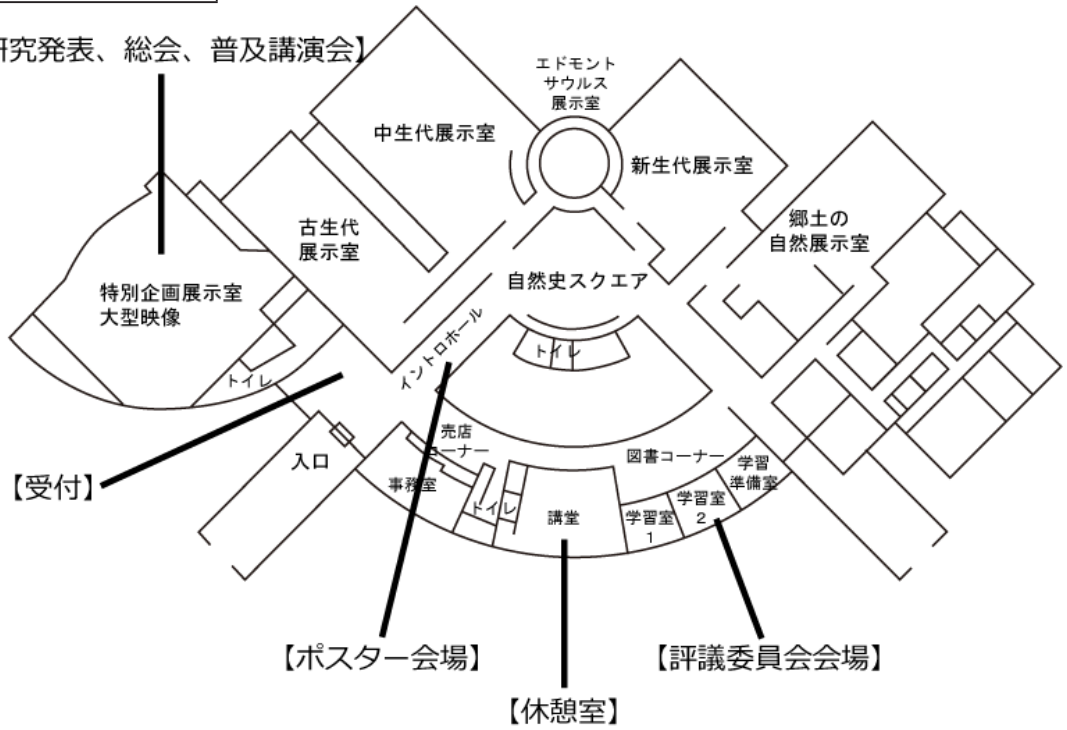
【お車の場合】

- ・ 名古屋方面から：東名高速道路「音羽・蒲郡」または「豊川」インターチェンジより国道1号線を豊橋方面へ約50分。
- ・ 東京方面から：同「浜松」インターチェンジより国道1号線を豊橋方面へ車で約50分。
- ・ 駐車場は豊橋総合動植物公園駐車場(約1,800台収容、無料)をご利用いただけます。中央門駐車場が便利です。

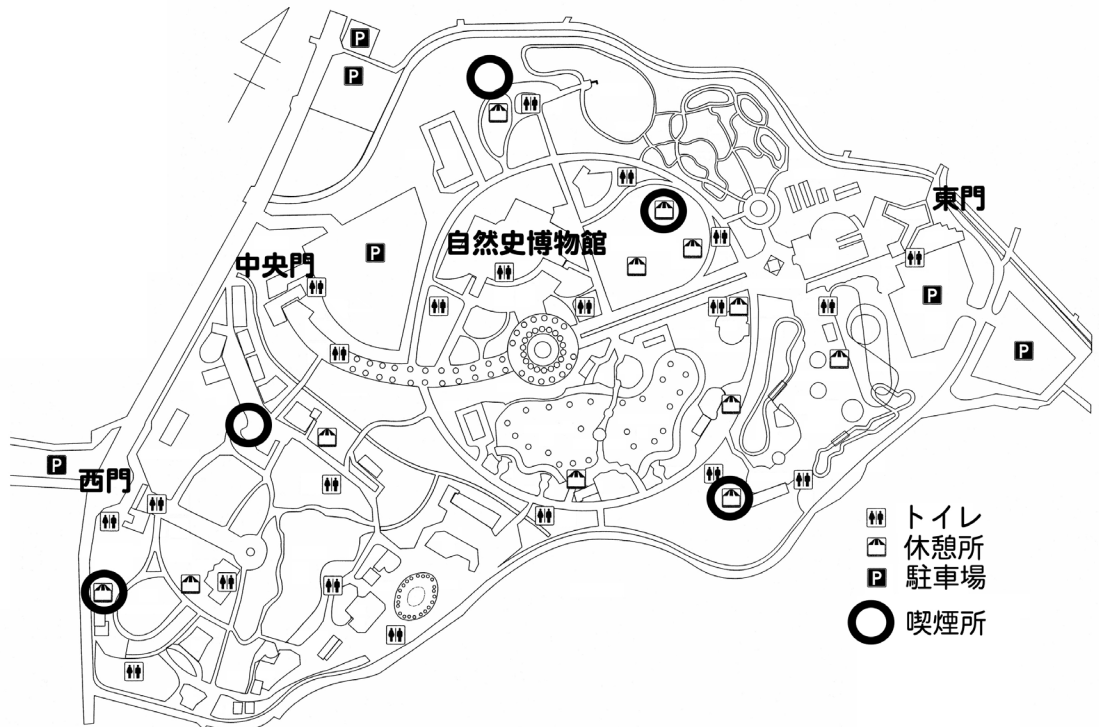
※駐車場は17時で閉門します。17時以降に出られる方は、必ず中央門駐車場をご利用いただき、ポスター発表終了後に職員の指示に従って出てください。また、駐車場に車を1泊させる方は、必ず中央門駐車場をご利用いただき、実行委員会までご連絡ください。

会場案内

【研究発表、総会、普及講演会】



豊橋総合動植物公園



※豊橋市自然史博物館内は禁煙となっております。また総合動植物公園内は決められた喫煙所以外での喫煙はできませんので、ご協力ください。